

普代村復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成 24 年 5 月時点

※本様式は 1 - 2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	6	事業名	小学校の避難路整備事業		事業番号	A-2-1
交付団体		普代村	事業実施主体（直接/間接）		普代村（直接）	
総交付対象事業費		7,745（千円）	全体事業費		7,745（千円）	
事業概要						
<p>災害時に児童を安全且つ速やかに避難させるための避難階段の設置及び、一時避難所となっている普代中学校まで安全に避難することと普代小学校の孤立防止を目的とする避難路の整備を行うものである。なお、三陸縦貫道工事の際には、同中学校から同道路に徒歩で避難するための階段が設置される予定となっている。</p> <p>また、当該事業は「普代村災害復興計画」P 29 に以下のとおり記載されている。</p> <p>【復興に向けての施策】</p> <p>①安全・安心な学校教育環境の検討</p> <p> >>三陸縦貫道への避難路、避難広場の整備、学校の移転を含めた安全対策の検討</p>						
当面の事業概要						
<p><平成 24 年度></p> <p>・避難路の整備（設計費 700 千円、工事費 7,045 千円）</p>						
東日本大震災の被害との関係						
<p>東日本大震災（津波）により普代小学校前の道路が冠水し、小学校が孤立。当時は午前中で授業が終了したために児童は帰宅後であったが、児童が在籍していた場合にあっては安全且つ速やかに避難できるようにするための避難階段や避難路等の整備が必要となっている。また、環境省において検討中の普代水門海側の海水浴場の再開（津波によって関連施設等はすべて流出）時においては、同海水浴場から水門を超えて小学校まで避難するための避難路の設置が必要となり、普代小学校からは当事業により整備する避難路を使って一時避難所である中学校まで避難することとなる。</p>						
関連する災害復旧事業の概要						

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	

普代村復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成 24 年 5 月時点

※本様式は 1 - 2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	7	事業名	中学校防災備蓄倉庫整備事業	事業番号	A-2-2
交付団体	普代村		事業実施主体 (直接/間接)	普代村(直接)	
総交付対象事業費	11,025 (千円)		全体事業費	11,025 (千円)	
事業概要					
<p>普代中学校は津波の一次避難所に指定されているものの、現在、同中学校には災害用の備蓄を保管する場所がないため、新たに防災備蓄倉庫を整備しようとするものである。</p> <p>なお、当該事業は「普代村災害復興計画」P 29 に以下のとおり記載されている。</p> <p>【復興に向けての施策】</p> <p>① 安全・安心な学校教育環境の検討</p> <p> ≫三陸縦貫道への避難路、避難広場の整備、学校の移転を含めた安全対策の検討</p>					
当面の事業概要					
<p><平成 24 年度></p> <p>・ 防災備蓄倉庫新設工事費 (2 棟分)</p>					
東日本大震災の被害との関係					
<p>東日本大震災 (津波) の際には津波到達までに相当程度の時間的余裕があったためにバスを使って更に内陸部へ避難することができたが、地震発生から津波到達までの時間的余裕がない場合、一次避難所となる同中学校で避難生活を送ることを余儀なくされる。このため、一時避難所として最低限必要となる量の災害用備蓄を保管するための防災備蓄倉庫を整備することが必要となるものである。</p>					
関連する災害復旧事業の概要					

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	

普代村復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成 24 年 5 月時点

※本様式は 1 - 2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	8	事業名	小学校から中学校への避難路整備及び屋外運動場嵩上げ事業	事業番号	◆A-2-1-1
交付団体	普代村	事業実施主体（直接/間接）	普代村（直接）		
総交付対象事業費	65,417（千円）	全体事業費	65,417（千円）		
事業概要					
<p>災害時に孤立する恐れのある普代小学校から一時避難所となっている普代中学校に児童を安全に避難させるための避難路を整備するとともに、避難の際の点呼時や体育の授業時等においても児童の安全を確保するため、浸水想定区域に含まれている屋外運動場の嵩上げを行うものである。</p> <p>なお、当該事業は「普代村災害復興計画」P 29 に以下のとおり記載されている。</p> <p>【復興に向けての施策】</p> <p>① 安全・安心な学校教育環境の検討</p> <p> >>三陸縦貫道への避難路、避難広場の整備、学校の移転を含めた安全対策の検討</p>					
当面の事業概要					
<p><平成 24 年度></p> <p>・屋外運動場の嵩上げ（設計費 4,200 千円、工事費 61,217 千円）</p>					
東日本大震災の被害との関係					
<p>東日本大震災（津波）により普代小学校前の道路が冠水し、小学校が孤立。当時は午前中で授業が終了したために児童は帰宅後であったが、児童が在籍していた場合にあっては安全且つ速やかに避難できるようにするための避難階段や避難路等の整備が必要となっている。また、環境省において検討中の普代水門海側の海水浴場の再開（津波によって関連施設等はすべて流出）時においては、同海水浴場から水門を超えて小学校まで避難するための避難路の設置が必要となり、普代小学校からは当事業により整備する避難路を使って一時避難所である中学校まで避難することとなる。</p>					
関連する災害復旧事業の概要					

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	A-2-1
事業名	小学校の避難路整備事業
交付団体	普代村
基幹事業との関連性	
<p>基幹事業においては校地内における避難路のみ交付対象となるため、小学校校地から中学校校地までの間を繋ぐ避難路については効果促進事業によって整備するものである。また、屋外運動場の嵩上げについては、基幹事業においては該当する事業がないため、避難階段等により避難した児童の点呼等を安全な場所で行い、一人も見落とすことなく全ての児童を安全に避難させるための確認作業に資するとともに、村唯一の小学校であるため、災害時においても速やかに学校活動を再開できるようになることが期待されるものである。</p>	

普代村復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成 24 年 5 月時点

※本様式は 1 - 2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	9	事業名	復興ふれあい広場整備事業	事業番号	◆C-7-1-2
交付団体	普代村		事業実施主体（直接/間接）	普代村（直接）	
総交付対象事業費	49,600（千円）		全体事業費	49,600（千円）	
事業概要					
<p>震災から 1 年、復興の兆しとして三陸鉄道北リアス線の久慈⇄田野畑間の運行再開により太平洋の眺望の良さ等から鉄道を利用しての観光客の入込が期待されることから、三陸鉄道普代駅前に広場を造成し、海産物等の PR 促進・販路拡大事業を行うとともに、震災後懸念されている地域コミュニティ機能の再生・活性化を図るための施設としても使えるような整備を行う。</p> <p>なお、当該事業は「普代村災害復興計画」P 13、P 18 に以下のとおり記載されているところ。</p> <p>【復興に向けての施策】 P 13</p> <p>②各種支援策の推進による水産加工業者の再建</p> <p> >三陸縦貫道への避難路、避難広場の整備、学校の移転を含めた安全対策の検討</p> <p>【復興に向けての施策】 P 18</p> <p>③震災復興事業など PR 活動を強化し、集客力を向上</p> <p> >津波を克服した「安全・あんしん普代」の PR</p>					
当面の事業概要					
<p><平成 24 年度></p> <p>・海産物等販路拡大・販売促進事業（アンテナショップや観光物産市など）を開催するための用地を造成する。</p>					
東日本大震災の被害との関係					
<p>本格的な水産業の復興に向け、水産業共同利用施設等の整備を進めるとともに、施設で生産した海産物等の販路拡大・販売促進に繋がる事業を展開するための場所の提供を行う。</p>					
関連する災害復旧事業の概要					

※効果促進事業等である場合には以下の欄に記載。

関連する基幹事業	
事業番号	C-7-1
事業名	共同利用施設復興整備事業
交付団体	普代村
基幹事業との関連性	
<p>水産業共同利用施設の整備を進めるとともに、施設で生産した海産物等の PR 活動や企業訪問を行うことで、販路拡大や販売の促進に大きな効果が見込まれる。このための事業を行う場所として、村の中でも集客力のある普代駅の前を整備するもの。</p>	

普代村復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成 24 年 5 月時点

※本様式は 1 - 2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	10	事業名	漁具保管修理施設整備事業	事業番号	C-7-2
交付団体		普代村	事業実施主体 (直接/間接)	普代村(直接)	
総交付対象事業費		39,600 (千円)	全体事業費	39,600 (千円)	
事業概要					
<p>東日本大震災のガレキにより、今まで利用していた網干場が、ガレキ置き場となり利用できない状況となっており、代替えとして昨年度使用した公共利用施設の空き地等では、周辺住民から臭いについての苦情もあることから、集落から離れた村有地を用い定置網やワカメの養殖等に使用する漁具等の網干場・修繕施設の整備を行うものである。</p> <p>なお、当該事業は「普代村災害復興計画」P 29 に以下のとおり記載されている。</p> <p>【復興に向けての施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ②各種支援策の推進による漁業の再建 ③各種支援策の推進による水産加工業者の再建 					
当面の事業概要					
<p><平成 24 年度></p> <p>鳥居地区 (10,000 m²) 19,800 千円</p> <p>和野山地区 (10,000 m²) 19,800 千円</p>					
東日本大震災の被害との関係					
<p>東日本大震災のガレキにより、今まで利用していた網干場がガレキ置き場となり利用できなくなった。代替えとして公共利用施設の空き地等を利用して網を干していたが、悪臭により地域住民から苦情がでている。水産業の振興を安定化させるためにも専用の網干場の確保が必要であり、集落から離れた村有地を用い網干場を整備するものである。</p>					
関連する災害復旧事業の概要					
<p>※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。</p>					

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	
<p></p>	

普代村復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成 24 年 5 月時点

※本様式は 1 - 2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	11	事業名	津波に対応した避難道路整備	事業番号	D-1-1
交付団体		普代村	事業実施主体 (直接/間接)	普代村(直接)	
総交付対象事業費		79,373 (千円)	全体事業費	79,373 (千円)	
事業概要					
<p>津波により壊滅的な被害を受けた太田名部地区の孤立解消としての接続道路の整備を実施する。 なお、当該事業は「普代村災害復興計画」P 26 に以下のとおり記載されている。</p> <p>【復興に向けての施策】</p> <p>④難所・避難路等の検証と避難所運営の充実 ≫避難所・避難路の再検討。備蓄品目の検証・充実</p>					
当面の事業概要					
<p><平成 24 年度></p> <p>太田名部地区の接続道路の整備 上の沢線道路改良 L=560m</p>					
東日本大震災の被害との関係					
<p>東日本大震災の際に太田名部地区の住居は防潮水門により守られたが、水門より海側に位置する主要道である県道岩泉平井賀普代線が通行止めとなり、太田部地区は孤立状態となり避難所、不明者の確認を取るのに 2 時間以上時間を要する状況であった。地区から北側に伸びる市道があるが、市街地に近い部分は津波浸水区域内となり、津波注意報、警報が発令された場合には通行止めとなる。</p> <p>このため太田名部地区の孤立解消のため、地区から内陸部に向かう道路で、これまで拡幅用地の交渉が難航したことにより整備が出来なかった市道上の沢線の未改良区間(L=560m)について事業実施し、集落間の接続道路を確保する必要がある。</p>					
関連する災害復旧事業の概要					
<p>※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。</p>					

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	
<p></p>	